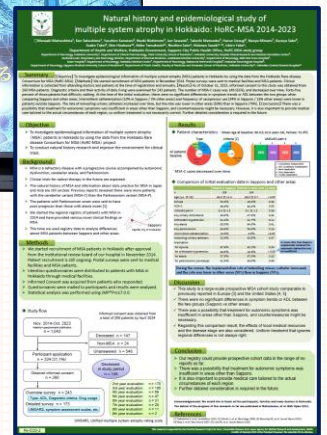


HoRC-MSA ニュースレター

脱水や熱中症などにもご注意下さい。

第65回日本神経学会学術大会が東京で開催されました

2024年5月29日（水）～6月1日（土）に第65回日本神経学会学術大会が東京で開催されました。本学会は第19回アジア・オセアニア神経学会議との合同開催であり、国際色豊かな学会となりましたが、北海道大学神経内科からも多数の発表をしました。MSAについては、引き続きHoRC-MSAを通じてみなさまにご協力頂いた貴重な臨床情報をまとめ、松島医師が英語で発表しました。HoRC-MSAは2014年から始まり現在までの10年間で多くの貴重な研究成果をあげることができております。今後も国内のみならず、アジア、そして世界へと北海道発のユニークな研究成果を発表し、患者さん・ご家族さんにMSAの治療という福音を届けることを目標に、ご協力頂いた分を還元できるように努めてまいります。



北海道大学神経内科発の論文に関する話題

今年のMSAに関連する北海道大学神経内科の研究成果としては、足澤医師が筆頭著者として、MSAの新しい診断基準をこれまでのMSA患者さんに当てはめて診断の精度を検討した結果を発表しました（Intern Med. 2024）。さらに松島医師が筆頭著者として、二つの論文を発表しました。ひとつはCOVID-19パンデミック下で、MSAの患者さんに電話調査による臨床症状の確認が、対面調査と同等の信頼性があることを明らかにしました（Clin Neurol Neurosurg. 2024）。幸いパンデミックは終息へと向かい、少しずつ日常が戻ってきています。しかし、病院までの距離が遠い北海道において、遠隔診療は引き続き重要な課題であり、今回の研究が将来の治験での治療効果の評価に役に立つ可能性があります。二つめは、脊髄小脳変性症の新しい病型である

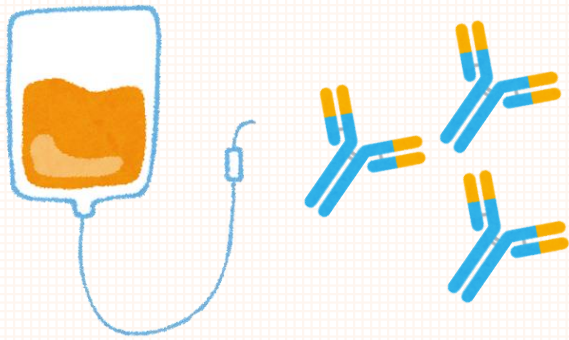


SCA27Bに関連するFGF14のGAAリピート伸長が、MSAと診断した患者さんの一部に認められたことを報告しました（J Neurol. 2024）。この病的意義はまだはっきりとしていないですが、MSAの発症素因を考える上で、重要な手がかりになる可能性があります。

いずれもHoRC-MSA患者さんおよびご家族のみなさんのご協力をいただいたの成果となりますので、改めて感謝申し上げます。

アルファシヌクレインに対する抗体薬の治験を継続しています

以前のニュースレターでもお伝えしていますが、MSA患者さんの脳内に蓄積するアルファシヌクレインを標的にした抗体薬TAK-341の治験を北海道大学病院脳神経内科も参加し、継続して行っています。神経変性疾患については、アルツハイマー型認知症で画期的な新薬であるレカネマブが今年から実臨床にも登場しています。



このように神経変性疾患にも治療薬が生まれつつある流れの中で、MSAの治療薬の重要性と需要を脳神経内科医は常々感じています。

まだこの新しい抗体薬の有効性は検討段階で、多数例での検討で明らかになっていきます。治験の詳細については、担当医を通じてご確認ください。

調査へのご回答のお願い

HoRC-MSAへの参加希望の「意向調査」の返信をいただいた方には、研究説明同意文書とスクリーニング調査票をお送りしています。「同意書」の提出のない場合は、参加する方の承諾が得られていないということになりますので、調査研究を進めていくことができません。HoRC-MSAに参加をご希望の方で、もし同意書が未提出でお手元にある方は、返信用封筒に入れて事務局へお送りください。

登録済みの方には、適宜所定の調査票をお送りする予定としています。こちらにもご協力をお願いします。

時々、転居などのためにこちらから発送した書類が届かずに返送されてくる場合があります。住所変更、通院先が変わったとき、お亡くなりになられた時など、何かありましたら、同封の「変更用紙」にてお知らせをよろしくをお願いします。



HoRC-MSA事務局

〒060-8638 札幌市北区北15条西7丁目

北海道大学大学院医学研究院神経病態学分野
神経内科学教室（北海道大学病院神経内科）

TEL 011-706-6028 FAX 011-700-5356

URL <http://neurology.med.hokudai.ac.jp/~neuro-w/horc-msa/>



質問・ご意見等募集

HoRC-MSAでは、みなさまのご意見やご質問を募集しています。お寄せいただいた内容は、個人情報に留意しつつ、HoRC-MSAの取り組み・運営の参考にさせていただきます。

〒060-8638

札幌市北区北15条西7丁目

北海道大学大学院医学研究院神経病態学講座

神経内科学教室 HoRC-MSA事務局

編集後記

今年も夏がやってきました。MSAの患者さんは体の中に熱をため込みやすい性質がありますので、健康な方よりもさらに熱中症への注意が必要といえます。発熱の際には肺炎や尿路感染症などの確認も重要ですので、かかりつけ医へもご相談ください。

適度な水分摂取や室温管理なども含めて体調を維持し、夏を乗り切ってください。